



平成3年12月11日のクリスマス発表会

われら仲間 サロンの心

心をひとつにして

高校時代からコーラスをやっている部長の浜田美都子さんを中心に、現在四十歳代から六十歳代の十二人のメンバーが毎週楽しく活動しています。

発足以来ずっと歌い続けている黄田節子さんは「最初の発表会では間違ひの音がこわくて、声を出さず歌うまねだけでした。一人くらの声をいさなくてもいいだろうと思つて、そしたらみんな同じことを考えていたみたいで、全然声が客席に聞こえていなくて、平気で歌ってました。さすがママさんは心臓が強いんですね」と笑つて話してくれま



高野直則さん

今回は稲生のママさんコーラス隊「ハ・モニー・いなぶ」を紹介します。

約十年前に発足した「ハ・モニー・いなぶ」は毎月二回、稲生小学校の音楽室で練習しています。講師は、とても面白いがよく、気さくな高野直則さん。

このコーナーでは、同じ趣味を持った方たちの楽しい活動風景を紹介しています。

「私たちのサークルを取材してほしい」と思われる皆さん、ぜひご応募ください。

【応募方法】サークルの代表者の氏名、住所、電話番号、活動場所、それに活動内容を簡単に明記

【あて先】〒783 南国市大浦甲二二〇一 南国市企画課 広報統計係

CLUB くらぶ

白木谷小 工作クラブ



廃品を利用して、いろいろなものを作っている、白木谷小学校工作クラブの5人を紹介します。



空の牛乳パックを使ってイスを作ったり、牛乳パックをくずしてハガキにすいたり、資源の再利用に役買っている工作クラブ。

「物があふれている中で、無駄をなくし、省エネや自然を大事にすることに目を向けてもらいたいです。」

父兄から牛乳パックをいただくなど、地元の方の協力がうれしいですね」と顧問の長野先生、昨年まで活動を停止していたこのクラブ、六年生の高橋恵ちゃん、信吉慶子ちゃんの力で今年再び活動することに、「みんなで協力して何かを作るのが楽しいです」と話してくれました。

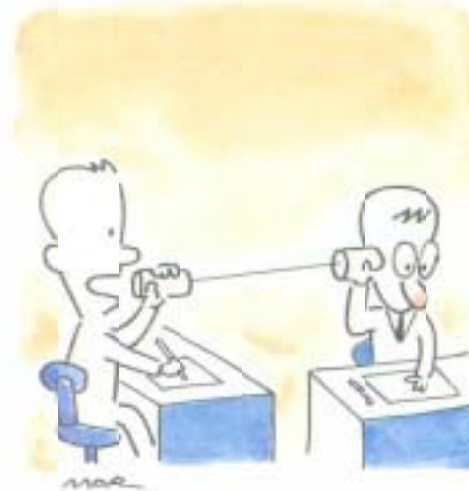
市民 サロン

このページは市民の皆さんが作るページです。短歌、俳句、川柳などの文芸作品やどんなことでも結構ですので皆さんのご意見をお気軽に寄せてください。

締め切りは毎月10日です。

あて先は南国市企画課市民サロン係（〒783 南国市大浦甲2301）です。

不景気「今日から電話はこれにしよう」 森沢良博（東崎）



南国組十五名で出発。車中ではお互いに元気を確かめ合う。ビールで乾杯。夜間のせいか、高速道路は車も少なく、あつという間に高松港。午前一時三十分に出港する。「男女七歳にして席を同じくするな」と言つて暇を同じく私たちが今は還暦も過ぎ、みな仲良し、男女いっしょに枕を並べた。

京都に到着した一行は駅前のレストラんで、異外組の三名と合流。さらに彦根のレストラんで五十一年ぶりとなる関田君と合流した。

午後四時過ぎに彦根のホテルに着く。ここで二十名全員がそろつた。何とかの寒風呂で一日の疲れをいやす。これが本場の裸の付き合いだ。

いよいよ旅行本番の同窓会の開宴。五十一年ぶりの関田君に乾杯の音頭を頼む。後は差しつ差されつ、オンシが、オラが、と土佐弁丸出して昔話に花が咲く。

もう宴会場は時間だ。場所を部屋に移し、夜の更けるのも忘れて旧交を温め合う。いつ寝たのか、目が覚めると布団の中だった。窓越しに琵琶湖を眺めると、今日も晴天ら



土佐ハチキン会

しい、彦根城、百濟寺、石山寺を観光し、その足で高知への帰路に着く。

車中泊とも二泊三日とそれこそ走る走るの滋賀路であったが、天候にも恵まれ、誠に思い出に残る楽しい旅行であった。（野中吉）

南国俳壇

交流会感を差出す列れかな
竹林を巻原が通り冬立てり
大時計一分遅れ冬に入る
浦風に乗る雉太鼓屋祭
天辺へ重なる小島林檎園
物干に雉さわぎある小春かな
分け合ひし仲甘かりし夜の部屋
独り身となりて玄間のハツ手咲く
鶴やかや鴨を数へて池広し

岩村 西本かよこ
岩村 大島新直
三和 山岡みよ
稲生 中沢道子
野田 門田郁子
前浜 竹村佐知
藤原 杉本大けし
大浦 小松千都
藤原 橋本まよ女

南国柳壇

はめ殺し新誕生れる春田町
一我明け手を合わされる初日の出

廿枝 島田稔子
十市 八松久幸

南国歌壇

悠々のいとなみ刺む山々の
葛葉と語るふるさとの山鳥
仁波川碧き水面に錦鯉の
山を映してたゆたう流れ
はらいに不慮なげらもととあひ
孫も育ちて金婚式に
故郷の山家のうらにくつろぎて
多弁となりぬ寒熱の夫は
さじ鏡に舌つづみ打ちはらからの
つどう息の家カラオケなごめり

前浜 澤田千恵子
前浜 澤田千恵子
廿枝 岡林きよ
浜改田 楠瀬富士子
立田 北村幸江